



おじいちゃん おばあちゃんと カルタ取り



小野保育所（黒川町）

第408回 9月定例会

一般質問

- | | |
|----------|----------|
| かわしまみな | くごじゅんじ |
| ・河島三奈 | ・久後淳司 |
| とみたかずや | おかしままさあき |
| ・富田和也 | ・岡嶋正昭 |
| ひらたまみ | たかさかじゅんこ |
| ・平田真実 | ・高坂純子 |
| こばやしちづこ | たけうちおさむ |
| ・小林千津子 | ・竹内修 |
| かわしまのぶゆき | ふじわらあきら |
| ・河島信行 | ・藤原章 |

■ ■ ■ 議会傍聴 ■ ■ ■

9月定例会 60人
〔29年度累計 130人〕

9月定例会—主な内容—

- こんなことが決まりました …… 2～3
- 常任委員会審査報告等 …… 4
- 一般質問の発言者 …… 5
- 一般質問の内容について …… 6～10
- 平成28年度会計決算の認定 …… 11
- 行政視察報告 …… 12
- 議会調査研究活動報告会の開催 …… 13
- 議員資格決定処分に対する県知事の裁決等 …… 14
- 議会の動き …… 15
- 12月定例会の傍聴案内 …… 16

9月定例会

いろいろなことが決まりました。

9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定などを含む議案16件を原案のとおり、認定・可決・同意しました。

制定・改正された条例

小野市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について

平成27年に農業委員会法が改正され（平成28年4月施行）、農業委員がこれまでの公選制から市長の任命制となったことや、新たに農地利用最適化推進委員が設置されることになったことに伴い新たに条例を制定するもの。「公布の日から施行（定数と報酬額の適用は在任中の農業委員の任期満了（4/19）の翌日から）」

【主な内容】

- 農業委員の定数 8人
- ※現行20人・公選14人、議会推薦4人、土地改良推薦1人、農協推薦1人
- 農地利用最適化推進委員の定数 15人（新設）

○各委員の報酬

会長 月額54,000円
（変更なし）
副会長 月額35,000円
（改正前：41,000円）

委員 月額32,000円
（改正前：37,000円）

農地利用最適化推進委員
月額32,000円（新規）

財産の交換、譲与、無償貸付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成29年3月28日にやすらぎ広場の区域が市街化区域に編入されたことに伴い、平成23年に共同事業者である兵庫みらい農業協同組合と締結した基本協定に基づきセレモニーホールを無償譲渡することから、同条例中のセレモニーホールの無償貸付の規定は不要となるため改正を行うもの。また、セレモニーホールを整備するという当初の目的は達成していることから普通財産となっているやすらぎ広場の設置及び管理に関する条例を廃止するもの。

〔平成29年11月1日から施行〕

小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

平成18年及び平成28年の介護保険法の改正により、地域密着型サービスの

事業者の指定及び監督に係る権限が県から市町村に移っている。これまでは経過措置として加東健康福祉事務所管内の自治体においては、県の介護保険指定機関等管理システムを利用し事務を行ってきたが、今後各市において独自に全ての審査事務を行うことになったことから介護サービス事業者からの申請事務に係る手数料を新たに徴収するもの。

〔平成29年10月1日から施行〕

【主な内容】

事業の種類	新規	更新(6年毎)
指定地域密着型サービス (地域密着型介護老人 福祉施設に限る)	30,000円	15,000円
指定地域密着型サービス (上記以外の事業所)	20,000円	10,000円
地域密着型介護予防 サービス	14,000円	7,000円
総合事業(第1号事業者)	14,000円	7,000円

主な議案

市有財産の無償譲渡について

やすらぎ広場の区域が市街化区域に編入されたことにより、共同事業者である兵庫みらい農業協同組合との基本協定に基づきセレモニーホール（建物）の無償譲渡を行うもの。

〈譲渡財産〉セレモニーホール施設及び付帯施設

〈所在地〉小野市敷地町1504番地1

〈面積〉1,619.㎡

〈相手方〉加西市玉野町1156番地の1

兵庫みらい農業協同組合
代表理事組合長 稲葉 洋

〈譲渡時期〉平成29年11月1日

（仮称）浄谷黒川多目的運動広場整備工事請負契約について

工事名（仮称）浄谷黒川多目的

運動広場整備工事（第4期その1）

契約金額 1億5,714万円

契約の相手方

兵庫県神戸市中央区布引町1丁目1番8号

長谷川体育施設株式会社 兵庫営業所

所長 伊藤 佳典

小学校教育用コンピュータ機器等の取得について

取得する財産

ノートパソコン 168台

サーバー 9台

取得価格 4,155万8,400円

契約の相手方 小野市本町21番地

オージヤ商事株式会社

代表取締役 柳田 吉亮

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めぬ旨の申し送り

平成29年12月31日で岩本文男委員、田中賢治委員及び河嶋律子委員の任期が満了するので、その後任として岩本文男氏（再任）、田中賢治氏（再任）及び養父雄一氏（新任）を推薦しようとするもの。

小野市教育委員会委員の任命について

平成29年9月30日で西村賢一委員の任期が満了するので、その後任として、同氏を再任したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求めるもの。

補正予算関係議案

平成29年度小野市一般会計補正予算(第1号)

補正額 186,800千円 追加
補正後総額 20,356,800千円

平成29年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 28,000千円 追加
補正後総額 7,041,000千円

平成29年度小野市介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 45,600千円 追加
補正後総額 7,017,600千円

平成29年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 14,900千円 追加
補正後総額 538,900千円

一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算では、シビックゾーン景観等整備事業や鍬溪温泉再生事業、介護事業における定期巡回サービス事業者の参入促進事業や発達障害支援アドバイザーの派遣経費、職員の人事異動に伴う人件費等に係る経費を措置しています。

シビックゾーン景観等整備事業は、市街地の玄関口となるソロ池（敷地町）に噴水機器の設置等により都市景観の整備と更なる賑わいを創出するものです。

また、鍬溪温泉再生事業は、基本設計の結果を受けて施設の整備内容を変更することによる増額補正で、平成28年度繰越予算と合わせて総事業費1億6千万円を措置しています。

平成29年度 一般会計9月補正予算概要

(単位：千円)

内 容	担 当 課	補 正 額
シビックゾーン景観等整備事業 市街地の玄関口となるソロ池（敷地町）の景観形成と賑わいを創出する噴水機器の設置等経費	総 合 政 策 部	23,000
国県支出金等精算還付金 生活保護措置費に係る国庫負担金等の精算還付金	財 政 課	55,000
定期巡回サービス事業者参入促進事業経費 参入直後の安定的な事業所運営のために人件費を支援	高 齢 介 護 課	3,000
各種商工業団体助成等経費 ゴルフ人口の創出と定着に向けたゴルフ産業の振興事業	産 業 創 造 課	1,000
現年発生災害復旧事業 6月30日の局地的豪雨により被災した農地の復旧事業経費	産 業 創 造 課	2,500
白雲谷温泉運営管理基金積立金 白雲谷温泉ゆびかの黒字決算確定に伴う基金積立	観 光 交 流 推 進 課	25,000
鍬溪温泉再生事業 基本設計の結果を受け、施設の整備内容を変更 平成28年度繰越予算と合わせた総事業費は1億6千万円	観 光 交 流 推 進 課	40,000
早期からの教育相談・支援体制構築事業経費 小・中学生を対象とした発達障害支援アドバイザーによる就学支援	学 校 教 育 課	1,075
コミュニティ活動推進事業経費 市場地区地域づくり協議会の備品購入助成	いきいき社会創造課	2,500

常任委員会審査報告

9月定例会の提出議案審査について、9月26日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第31号から議案第44号の14議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会に付託された議案及び審査結果は、次のとおりです。

《各常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

- 議案第31号 平成28年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第32号 平成28年度小野市都市開発事業会計資本金及び利益の処分並びに決算の認定について
- 議案第35号 平成29年度小野市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第40号 財産の交換、譲与、無償貸付に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第42号 市有財産の無償譲渡について
- 議案第44号 小学校教育用コンピュータ機器等の取得について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。



◎民生地域常任委員会◎

- 議案第31号 平成28年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第33号 平成28年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 議案第34号 平成28年度小野市下水道事業会計決算の認定について
- 議案第35号 平成29年度小野市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第36号 平成29年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第37号 平成29年度小野市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 議案第38号 平成29年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 議案第39号 小野市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について
- 議案第41号 小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第43号 (仮称)浄谷黒川多目的運動広場整備工事請負契約について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。





みんなでダンス！ 楽しいね！（小野保育所）

（一般質問は発言した議員が編集しました）

平成29年 9月定例会

市議会ホームページ内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

一般質問発言者

河島三奈議員

- ・在宅医療について
- ・公共交通について

久後淳司議員

- ・介護人材確保に向けた取組について
- ・子宮頸がん検診について

富田和也議員

- ・みなと銀行との「包括連携協定」について
- ・ふるさと納税について
- ・企業版ふるさと納税について

岡嶋正昭議員

- ・浄谷黒川丘陵地の整備について
- ・市営住宅の整備について

平田真実議員

- ・保幼小連携について
- ・歯科検診事業の充実について

高坂純子議員

- ・新給食センターのアレルギー対応献立について
- ・ペット（犬・猫）の飼育について

小林千津子議員

- ・高齢ドライバーの免許返納について
- ・ジェネリック医薬品の利用促進について

竹内修議員

- ・教育現場におけるICT（情報通信技術）の活用と校務支援について
- ・安定的な水の供給について

河島信行議員

- ・太陽光発電の設置について
- ・市庁舎及び市管理地の全面禁煙について
- ・防災・減災の推進について
- ・椎屋邦隆議員の『議員資格回復』の「兵庫県井戸知事の裁決」について

藤原章議員

- ・非核・平和の取組について
- ・河合水源地の整備について
- ・技能職者表彰制度の創設について
- ・当面の農業施策について



改革クラブ

河島 三奈 議員

在宅医療について

質問 地域ケア会議でのかかりつけ医に関する課題は何か。

答弁 在宅療養者は増加傾向にあるが、訪問診療を行う医療機関が増えないことその他、認知症や妄想性障害で受診につながらない方への精神科医の往診や皮膚科、整形外科の往診も必要であることなどである。(市当局)

質問 市立で往診専門の医療機関(組織)を設立する考えはないか。

答弁 将来を見据えると、今ある医療機関の充実・連携こそが必要であり、設立する考えはない。(市長)

質問 在宅医療市民セミナーの内容について、専門家の講演だけでなく実際に在宅医療で介護等を経験された市民の話を聞く機会を作ってはどうか。また自治会単位でセミナーを開催してはどうか。

答弁 在宅医療・介護連携推進会議において、開催形態や内容などを前向きに検討したい。(市当局)

公共交通について

質問 高齢化など変化していく時代への対応策としての今後のらんらんバスの増車計画について

答弁 限りある台数の中でダイヤ改正などを実施しながら利便性の向上を図っていききたい。また時代変化への対応としては、高齢化の進展や利用者ニーズなどを見極め、増車や増便についても検討していく。(市当局)

質問 神戸電鉄栗生線活性化協議会に対する今後の関わり方の方向性について

答弁 沿線住民の意識改革やコミュニティバス運行などの活性化施策等を継続しつつ、栗生線の経営状況の推移や関係市の動向等を注視し、見守っていく。(市当局)



市民クラブ

久後 淳司 議員

介護人材確保に向けた取組について

質問 介護事業所への就労支援等のサポート体制は。

答弁 市内の介護事業所向けアンケートの中で、介護人材の充足状況について調査した。結果は、「職員数はぎりぎりである」が60%、「必要数を下回っている」が5%。また「専門職の確保や人材育成が困難」と感じている事業所は64%で、人材確保や離職防止に少なからず苦慮されている状況を把握した。

市の支援策として「定期巡回サービス事業者参入促進事業」があるが、これは11月に開設する事業所1か所へ、人件費として月額50万円を助成する事業である。

今後も、国・県の支援策等を注視しながら、市内事業所への情報提供及びヒアリング等のサポート体制を

継続していく。(市当局)

子宮頸がん検診について

質問 「企業における女性特有のがん検診受診促進事業」の取組は。

答弁 厚生労働省は「職場がん検診」の指針策定に着手しており、企業が従業員のプライバシーに配慮しながら、受診率の向上に取り組める体制づくり等を検討し、1年以内の完成を目指している。

市では、就労されている女性が検診受診を目的とした休暇を取得しやすいように、子宮頸がん検診の無料クーポン券に雇用主や上司に協力を求める依頼文を記載している。

また、兵庫県が実施している企業への費用助成は、他県に先駆けた有効かつ特色のある制度であり、今後において当該事業の周知とPRを行っていききたい。(市当局)



改革クラブ

富田 和也 議員

ふるさと納税について

質問 協定に至った経緯と内容及び見込まれる効果を問う。

答弁 同行の経営目標に基づき、地域活性化への取組を可視化させるべく、協定締結の申出があり締結に至った。内容は、みなと地域貢献寄付型ファンド「小野市とともに」を活用した人型ロボット「ペッパー」の小中学校への寄贈をはじめ、新産業団地への企業誘致PR、地域産業の活性化、移住・定住促進、観光の振興、シニア世代への支援等、相互に連携しようとするもので、金融機関の資金やノウハウを有効活用することで新たなうねりが生まれ、小野市独自のビジネスモデルの構築に繋がっていくものと期待している。(市当局)

質問 平成28年度の小野市への寄附総額と県内順位及び小野市民による小野市への寄附額と市外への寄附額、また近隣市の取組状況の分析と市として今後の考えを問う。

答弁 小野市への寄附額は1億8,682万5千円で県内14位。市民が小野市へ寄附した額は158万円、市外への寄附は約4,000万円である。近隣自治体と受入額に大差はなく、各々創意工夫をしている中、当市も地元の素晴らしいふるさと産品を全国発信できる絶好のチャンスととらえて前向きに事業に取り組んでいる。(市当局)

企業版ふるさと納税について

質問 市としての考えを問う。

答弁 本制度の枠組みに合わせた事業ではなく、当市のまちづくりに必要な事業を展開し、取り組むことが最優先であると考えている。(市当局)



市民クラブ

岡嶋 正昭 議員

市営住宅の整備について

浄谷黒川丘陵地の整備について

質問 多目的運動広場の整備について

答弁 多目的運動広場（日本陸連公認の第4種競技場）では、主に井上記念小野市陸上競技大会、小野市中学校新人体育大会等の市内大会の開催の他、サッカーやラグビーの実施が可能である。

また、競技前のウォーミングアップが必要であることから、サブグラウンドの整備を運動広場の東側に検討している。(市当局)

質問 その他の整備について

答弁 西日本最大級の80ホールを備えたグラウンドゴルフ場・クロスカントリーコースの整備等々、今後の全体構想については、市民の意見を直接聞きたい。(市長)

質問 市営住宅の現状と県営住宅等との関連について

答弁 現在、総戸数499戸のうち、新田、丸山及び中町団地の204戸は、継続して新規入居者を随時募集している。その他の13団地295戸は、老朽化による廃止を見据え、入居募集中の団地や民間の賃貸住宅への転居を促進していく。

一方、県営住宅は新たに161戸に建替わる計画中で、雇用促進住宅は市内に12棟500戸あったが、全棟が民間へ譲渡され、家賃共益費共で約3万円で入居を募集している。(市当局)

質問 下排水整備について

答弁 浄谷団地と河合中団地の2団地が未整備である。トイレは汲取で、生活雑排水は複数の沈殿槽を経由して下流へ排出している。悪臭などで迷惑を掛けないよう、排水路・雑排水槽を専門業者に委託し管理している。(市当局)



民政クラブ
平田 真実 議員

保幼小連携について

質問 小野市では16か年教育を基軸に、小中一貫のみならず保幼小連携についても、社会福祉法人・子育て支援課・教育委員会それぞれが連携に取り組まれているが、保幼小連携を指揮するのはどの部署なのか。

答弁 小野市内でも認定こども園化の動きがある中、多様化していく子育て支援・教育に対応し、手続きを行う市民のためにも、将来的には窓口の一元化という組織体系の変更も考えられるのでは。市長の考えを問う。

答弁 認定こども園にも対応できるような組織体系が戦略的にも可能かどうか、社会福祉法人の進行状況を見定めながら、市は果たし得る役割に応じて組織を整えていくべきだと考えている。
(市長)

歯科健診事業の充実について

質問 80歳で20本の歯を保つことは市民行動目標の一つである。むし歯予防の啓発は、子どもを持つという節目である妊婦への啓発が最も有効ではないか。小野市でも妊娠期に歯科健診受診を勧奨しているが、20歳以上の方を対象に、年4回各20名無料で実施している歯周病集団検診において、妊婦にも受診してもらえりような啓発はされているのか。その取組について問う。

答弁 母子健康手帳交付時に歯科健診受診の必要性や個別検診・集団検診の啓発をしているが、約7割の妊婦が歯科健診を受診していない。妊娠中の歯科健診は妊婦本人のみならず、胎児への影響、出産後の母子の口腔衛生にも関係する重要な健診であるため、更なる受診勧奨に努める。
(市当局)



市民クラブ
高坂 純子 議員

新給食センターのアレルギー対応献立について

質問 アレルギー対応食の進捗状況について問う。

答弁 「学校給食における食物アレルギー除去食対応メニュー」を策定し、中学9年生を除く全ての生徒・児童・幼稚園児4,032人に食物アレルギーに関するアンケート調査を行った。今後は、当該除去食希望者と個別面談を行い、冬には、保育園などに通う新小学1年生にも調査等を実施し、平成30年4月から安全で安心なアレルギー除去食（卵及び乳）の提供を開始する。
(市当局)

質問 卵のみ又は乳のみのアレルギー対象者への対応を問う。

答弁 安全性の確保から卵と乳の両方を除去した給食の提供となる。但し、卵のみにアレルギーを持つ方への牛乳の提供は行う。
(市当局)

ペット（犬・猫）の飼育について

質問 小野市における犬の登録数は、平成28年度末で3,498頭だが、猫の数は把握出来ないのが現状である。市民からの苦情や対処について問う。

答弁 犬や猫のふん尿による被害や放し飼いなど、飼い主のマナーに関して、近隣の方が迷惑を被っているといったものが苦情の大半を占めている。
今後も、「飼育マナー向上のため」「兵庫県動物愛護センター」と連携し、啓発に取り組んでいく。
(市当局)

質問 市民にはペットの相談窓口がわかりにくい。統一してはどうか。

答弁 行政の責務、自治会で対処すべきこと、自己責任の部分等様々あるが、市として、条例の制定や窓口の統一は考えていない。
(市長)



市民クラブ
小林千津子 議員

高齢ドライバーの免許返納について

質問 高齢運転者による交通事故が多発する中、運転免許の自主返納に向けた支援が広まりをみせている。返納後も著しい不便を感じるのではない移動手段の確保と返納への意識改革について

答弁 らんらんバスを市内の基幹交通に位置づけ、ダイヤ改正などを実施しながら利便性を図る。併せて、それを補完する地域乗合タクシーや自家用有償旅客運送、タクシージャービスの充実等についても研究する。

また、高齢者を対象とした講習会で警察署と連携しながら、加齢に伴う身体機能、認知機能の変化を自覚し、速度を落とし余裕をもって運転することや運転に不安があれば返納を検討してもらうなど、高齢者が加害者にも被害者にもならないよう多様な角度から周知していく。(市当局)

自主返納してもらうには、ニッチ

(すき間)を埋めていく交通体系が課題。タクシー業界と連携し、利用者にも一定の負担をしてもらいながら、免許返納と交通体系をリンケージさせた具体的な方策を検討している。(市長)

ジェネリック医薬品の利用促進について

質問 医療費全体で調剤にかかる費用は約2割を占めている。自己負担額の軽減と医療保険財政の改善にも繋がるジェネリック医薬品の利用促進について

答弁 ジェネリックの利用率は28年度も前年度に比べ確実に伸びている。利用促進にむけ、啓発チラシや個人負担の軽減額の明示など、被保険者一人ひとりが関心を寄せていただくため今後も継続して啓発を行っていく。(市当局)



公明党
竹内 修 議員

教育現場におけるICT(情報通信技術)の活用と校務支援について

質問 各学校におけるICT教材等の導入状況とその効果と課題を問う

答弁 平成20年度から研修機会を充実させ、翌年よりプロジェクト、実物投影機、スクリーン、指導用PC機器を、小・中・特別支援学校の全クラスと特別教室に配置している。効果は、映像教材が児童・生徒の関心意欲を高めたり、反復練習や集中力向上に役立っていること。課題は、教員が作成したICT教材を市内学校の共有財産として整備し利便性を高めていくことで、一層効果的に活用していきたい。(市当局)

質問 ICTや外部人材の活用によりICT教材を開発することで教員の負担軽減や校務支援ができると思うが考えを問う。

答弁 学校では、はじめや問題行動

不登校など教員の果たすべき役割が増え続けている。それらの負担を軽減するため、昨年から独自の校務支援システムを導入、整備し、校務の見直しをしている。外部人材の活用は、新教材開発時に技術的な面で困難が見込まれるときに検討する。(市当局)

安定的な水の供給について

質問 水道管路の更新率と耐震化率を問う。

答弁 近年の管路の更新には、ダクトイル鉄管、通称「耐震管」を使用している。総延長約320kmの内、約18kmの更新を行い、更新率は5.6%となっている。

本年3月末の時点で「耐震適合管」を含め約92kmの耐震化の整備が完了し、整備率は約28.2%で、その内、重要な基幹管路に関しては、約65.7%と高くなっている。(市当局)



真政クラブ
河島信行議員

権屋邦隆議員の議員資格回復の兵庫県知事の裁決について

質問 ・知事の裁決について

・小林清豪副市長の藤井氏宅訪問の意図並びに会談の具体的な内容等について

・総務部長等の百条委員会での参考人としての証言について

答弁 議員発言において虚偽があること及び権屋議員の県知事への審査申立内容と100条委員会での証言に齟齬（食い違い）がある。この2点の説明責任がなされていないゆえ答弁はできない。
(市長)

太陽光発電の設置について

質問 環境保全のための条例等の制定について

答弁 環境保全等を目的に、兵庫県は事業区域面積が5,000㎡以上は届け出を義務付けている。小野市は県条例の適用面積を1,000㎡に引き下げている。
(市当局)

防災・減災の推進について

質問 道路脇の溝の適切な管理及び市民ができる役割について

答弁 自分の安全、地域の安全は自らを守るという思いを持って、住民・地域・行政が互いに協力し実施することが不可欠である。
(市当局)

質問 安全安心メールの加入登録促進について

答弁 登録リーフレットの全戸回覧や会議での案内に加え、携帯電話販売店や学校での呼びかけを新たに行っている。
(市当局)

市庁舎及び市管理地の全面禁煙について

答弁 兵庫県条例により、保育所や学校等は敷地内・建物内は全て禁煙。官公庁舎は建物内が禁煙。集会所、運動施設、図書館、公園等は建物内の公共的空間が禁煙となっている。当面は県の基準による受動喫煙防止を徹底していく。
(市当局)



藤原 章議員
(日本共産党)

非核・平和の取組について

質問 8月は6日・9日のヒロシマ・ナガサキ、15日の終戦記念日など戦争と平和への思いを新たにしている。小野市では平成11年に「非核平和都市宣言」がなされているが、非核・平和の取組を問う。

答弁 毎年、原爆投下日や終戦記念日には、黙とうや半旗の掲揚をしている。また市内の中学校では修学旅行で沖繩を訪れ、体験者から直接お話を聴きして戦争の悲惨さや平和について学んでいる。
(市当局)

河合水源地の整備について

質問 小野市の上水道は船木浄水場の膜ろ過方式、市場水源地の紫外線処理などを進めてきたが、残された河合水源地の整備を問う。

答弁 河合水源地は井戸水であり、紫外線処理などの施設整備が必要と考えている。
(市当局)

技能職者表彰制度の創設について

質問 優れた技術・技能で業界や地域・社会に貢献してきた技能職者を讃える表彰制度を小野市でも創設すべきと思うが考えを問う。

答弁 本制度は国や県に表彰制度がある。小野市には「商工業優良従業員表彰制度」があり、新たな創設は考えていない。
(市当局)

当面の農業施策について

質問 平成30年度からのコメ生産調整（転作）廃止への対応を問う。

答弁 県は本年末に各市町に生産量の目安を示す。市は年明けに各農会長に提示する。麦や大豆などの助成金を廃止する情報は無い。
(市当局)

質問 山田錦の生産見通しを問う。

答弁 平成27年産までは年々増加したが、今後大幅な増量は見込めないとJAから聞いている。
(市当局)

平成28年度 各会計決算を認定

- 議案第31号 平成28年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 議案第32号 平成28年度小野市都市開発事業会計資本金及び利益の処分並びに決算の認定について
- 議案第33号 平成28年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 議案第34号 平成28年度小野市下水道事業会計決算の認定について

一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、全議員出席による決算研修会を3日間にわたり開催し、詳細な調査を行ったうえで、9月定例会で認定しました。

これは、従来9月定例会において、決算特別委員会に審査を付託し、10月に審査、12月定例会で決算の認定をしておりましたが、一方で、決算の概要は市当局から9月には市民のみなさんに公表されていることもあり、早期に審査するよう改めています。

決算研修会

開催日時	審査した部局名
8月28日(月) 10:00~16:30	総務部、秘書課、総合政策部、教育委員会
8月29日(火) 10:00~16:30	地域振興部、消防本部、水道部、会計課、農業委員会、選挙管理委員会・監査事務局・公平委員会等
8月30日(水) 10:00~16:00	市民安全部、市民福祉部

※研修会には、各部局の部長、課長をはじめ、担当係長等にも出席を求め、実施事業等について詳細な説明を求めた。

平成28年度決算総額

348億円

※一般会計、特別会計及び企業会計の歳出総額



◎実施した重点項目

- 「子どもを産み育てたいまち」
- 「希望あるまち」
- 「選ばれるまち」
- 「つながりあるまち」
- 「エイジ・ルネサンス生涯現役のまち」

基金(預金)残高 90億円
(前年度から3千万円の減少)

地方債(借金)残高 182億円
(前年度から1億8千万円の減少)

※基金残高は、90億円台を維持。地方債残高の実質的な負担額は約182億円のうち約41億円。(約141億円は、後年度に国から補填されるため)

実質公債費比率:4.3% (前年度より0.9%改善)

※税込や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合

※早期健全化基準: 25% 財政再生基準: 35%

将来負担比率:表示数値なし (-36.4%:前年度より8.0%改善)

※税込や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来負担すべき借金等負債の割合

※早期健全化基準: 350%

議会運営委員会行政視察報告

平成29年7月24日(月)～7月25日(火)

京都府福知山市

議会運営と議会活性化の取組について

福知山市議会では、平成24年12月に「議会基本条例」を制定し、この条例を議会活動の最高規範として位置づけ、市民に信頼され、評価される議会を目指して様々な取組、議会活動が行われている。

月2回程度開催される「議会改革検討会議」では、議会基本条例に基づく議会活動の点検と検証、議会改革事項や議員からの提案・提言の検討などが行われ、常に議会改革への取組が推進されている。

【主な取組事例】

- ・ 政策検討会議（全議員）での政策提言、政策立案
- ・ 出張委員会
- ・ 行政視察研修報告会（公開）
- ・ 議員研修の充実
- ・ 高校生フレッシュ議会
- ・ 議長の議会広報活動（記者会見・地元FM放送）
- ・ タブレット端末試行導入



岐阜県可児市

議会運営と議会活性化の取組について

可児市議会では、「議会基本条例」に基づき、市民の信頼に応え、活力あふれる議会活動を継続して実践していくために、議員改選による議会活動が途切れないよう、次期議会へ引き継ぐ事項を定めている。また、議長マニフェストにより、4年間の任期における議会運営の方針を毎年定めている。

【積極的な取組事例】（議会の力が地域の未来を創る）

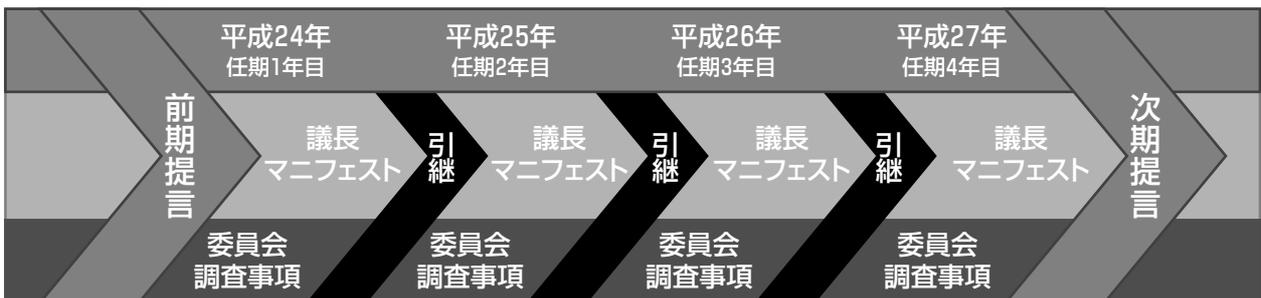
- ※議員定数・報酬の調査研究の継続 → 全議員対象の活動量調査の実施
- ※地域課題懇談会 → 高校生議会（高校生による活動報告と意見交換）など
- ※若い世代との条例づくり → 若い世代と大人が関わり、広聴する仕組みを条例化

議会運営の取組の中で特に印象に残ったことは、議員改選による議会活動が途切れないよう、次期議会へ引き継ぐ事項を定めるという「議会運営サイクル」を行っていること。

4年1期を一つのサイクルとして捉えている議会は少ないと思う。小野市議会も単に引き継ぎではなく、異なる価値観の議員が4年1期のチーム・組織として機能することを「考えることのできる議会としての運営システム・仕組み」を考える必要を感じた。



▼議会運営サイクル



～政務活動費廃止から半年～

9月29日開催

議会調査研究活動報告会を開催しています!

小野市議会では、平成29年4月から県内で初めて政務活動費を廃止しました。

議会の調査研究に必要な活動を「議会調査研究活動」と位置付け、必要な活動を見定めたくえて、議会が承認する公務として実施しています。

今回初めて、議会調査研究活動報告会を実施しました。

H29年度 議会調査研究活動 研修・視察一覧表（8月まで）

	議員名	月 日	内 容
1	河島 三奈	7月 5日	廃棄物適正処理推進大会
2	河島 三奈	7月19日	予算審議に向けた決算議会のポイント、監査・監査実務の実際
3	久後 淳司 小林千津子 高坂 純子 前田 光教 岡嶋 正昭 竹内 修 山中 修己 川名 善三	7月20日 ～21日	埼玉県所沢市：議会評価システムについて 東京都北区：介護と医療の連携強化について
4	河島 信行	8月 8日	効果的な予算・決算審議、議員が守るべき政治倫理とは

今後も年4回、報告会を開催する予定です。

各議員の研修・視察報告書については、小野市議会ホームページでご覧いただけます。



◆研修や行政視察で得た情報を全議員で共有します。全議員が出席しました。



◆他市の先進事例を視察した報告については、市職員も参加し議論を行いました。

議会調査研究活動とは…?

政務活動費を廃止したことにより、研修や視察を「議会調査研究活動」として位置付けました。希望する議員が事前に計画書を提出し、議会で承認を得られた場合のみ実施しています。また、研修資料代や図書を購入する場合も事前に議長に申請が必要となりました。

椎屋邦隆議員の資格決定処分に対する審査申立てに係る知事裁決について

1. これまでの経緯について

①小野市議会が行った資格決定について

小野市議会は、小野市議会議員であった椎屋邦隆議員について、小野市内に生活の本拠があったとは認められず、被選挙権を有しないとして、平成29年5月22日の第406回市議会臨時会において、特別多数議決である出席議員の3分の2以上の賛成により椎屋邦隆議員は議員の資格を有しないと決定した。

②審査申立てについて

椎屋邦隆氏（審査申立人）は、本件決定に不服があるとして、兵庫県知事に対し、平成29年5月30日付けで本件決定の取消しを求める審査の申立てを行った。

これを受け、兵庫県知事は弁護士ら3名で構成する自治紛争処理委員による審理を踏まえ、平成29年8月10日付で裁決を行った。

2. 知事裁決の要旨について

(1) 主文

本件審査の申立てに係る決定を取り消す。（※）

(2) 理由（自治紛争処理委員の意見書のとおり）

ア 本件居宅の室内状況、電気・ガス・水道の使用量及びその時期的変動の経過等を鑑みれば、審査申立人は、起臥寝食一定の居住実態があると認められる。

イ 審査申立人は、本件居宅と市外の居宅それぞれで過ごす日数の割合は不明である。しかし、市外の居宅に頻繁に訪れていることを窺わせる証言は得られておらず、本件居宅より市外の居宅の方が審査申立人の生活に関係が深いとまでは認められない。

ウ 審査申立人は本件居宅を住所とする意思を有し、一定の居住実態が認められる一方、市外の居宅に生活の本拠があることを認めるべき積極的事情も認められないことから、本件居宅に住所がある。

※審査申立人（椎屋邦隆議員）は、決定のあった平成29年5月22日に遡って小野市議会議員の地位を回復されています。

委員会及び会派の構成に変更がありました。

委員会の構成

（平成29年8月25日現在）

委員会名	総務文教常任委員会	民生地域常任委員会	新庁舎建設特別委員会	議会運営委員会
委員長	川名善三	河島三奈	加島淳	前田光教
副委員長	小林千津子	竹内修	川名善三	富田和也
委員	富田和也	久後淳司	富田和也	岡嶋正昭
	平田真実	椎屋邦隆	平田真実	川名善三
	高坂純子	藤原章	小林千津子	山本悟朗
	河島信行	山本悟朗	高坂純子	河島信行
	前田光教	岡嶋正昭	前田光教	加島淳
	山中修己	加島淳	岡嶋正昭	

市議会の会派構成

（平成29年8月25日現在）

会派に属する議員は16名中15名

市民クラブ（6名）	◎前田光教	○岡嶋正昭	久後淳司	小林千津子	高坂純子	山中修己
改革クラブ（3名）	◎富田和也	○河島三奈	加島淳			
公明党（2名）	◎川名善三	○竹内修				
民政クラブ（2名）	◎山本悟朗	○平田真実				
真政クラブ（2名）	◎河島信行	○椎屋邦隆				

◎幹事長、○副幹事長

◎議会の動き◎

【8月】

- 1日 北播衛生事務組合臨時会及び議員協議会
(加東市)
- 4日 アジア太平洋フォーラム・淡路会議 (淡路市)
- 8日 小野市珠算競技大会
 - ♪ 北播衛生事務組合監査
- 9日 北播磨総合医療センター企業団議員総会
- 10日 会派代表者会
 - ♪ 新庁舎建設特別委員会
- 17日 交通対策委員会総会
- 19日～20日 小野まつり
- 23日 小野加東広域事務組合理議員協議会・議会
- 25日 議会運営委員会
 - ♪ 市議会報編集委員会
 - ♪ 議員協議会
- 28日 決算研修会 (第1日)
- 29日 決算研修会 (第2日)
- 30日 決算研修会 (第3日)
- 31日 らんらんバス匠台ルート出発式

【9月】

- 1日 9月定例会 (第1日)
- 5日 北播磨総合医療センター企業団議会
- 7日 北播政経懇話会 (加西市)
- 9日 中学校体育祭
- 21日 9月定例会 (第2日)
 - ♪ 議会運営委員会
- 22日 9月定例会 (第3日)

- 26日 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
- 27日 産業フェスティバル実行委員会
- 29日 9月定例会 (第4日)
 - ♪ 議会調査研究活動報告会
- 30日 幼稚園運動会
 - ♪ おのウィメンズ・チャレンジ塾

【10月】

- 2日 世代をつなぐ体育祭
- 4日 湊溪温泉交流施設建築工事安全祈願祭
- 7日 観月茶会
- 8日 ひまわり杯サッカー大会
- 11日 行政視察来市 (茨城県鹿嶋市)
 - ♪ 小野市研究発表会
- 12日 行政視察来市 (茨城県常陸太田市)
- 13日 行政視察来市 (山形県東根市)
- 15日 小野住民大会
- 16日 行政視察来市 (神奈川県高座郡寒川町)
 - ♪ 北播磨こども発達支援センター事務組合理議員協議会 (加東市)
- 17日 行政視察来市 (愛知県愛西市)
 - ♪ 近畿市議会議長会研修会 (京都府相楽郡精華町)
- 18日 市議会報編集委員会
 - ♪ 行政視察来市 (鹿児島県出水市)
- 20日 北はりまビジネスフェア企業大交流会
- 24日 行政視察来市 (岩手県八幡平市)
- 25日 保育園ふれあい運動会
 - ♪ 川島隆太教授講演会
- 27日 北播政経懇話会
- 29日 小野市美術展表彰式

NEW!

QRコードで議会中継へ簡単にアクセス!

小野市議会では、YouTubeで議会中継、録画配信を行っています。
スマートフォンやタブレット端末で下記QRコードを読み取り、YouTubeにアクセスしてください。



LIVE (議会中継)



ライブラリ (録画配信)



議会の傍聴にお越しく下さい

12月定例会は、次の日程で開催いたします。一般質問の実施日は、たくさんの方が傍聴に来られます。ぜひこの機会に、議会の傍聴にお越しく下さい。

☆ 12月定例会日程 ☆

- 11月27日(月) 午前10時～ 本会議(第1日)
- 12月15日(金) 午前10時～ 本会議(第2日)
※一般質問実施
- 12月18日(月) 午前10時～ 本会議(第3日)
※一般質問実施
- 12月25日(月) 午後1時30分～ 本会議(第4日)



定例会の第2日(15日)、第3日(18日)は、議員の一般質問が行われます。

一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。なお、一般質問の内容は、質問が行われる日までに市議会ホームページで公開します。

傍聴の手続きは、本会議の当日に本庁舎5階の受付で傍聴者名簿に記入するだけです。

傍聴席は34席で、先着順となります。傍聴席が満席の場合は、第2委員会室(傍聴者休憩室)でテレビでの傍聴(ライブ中継)となります。

傍聴者の休憩室を開設します

本会議を傍聴に来られた市民のみなさんに、くつろいでいただけるよう、議場の隣接会議室を利用して、休憩室を設けています。議場内の傍聴席が満席の場合は、この休憩室でテレビモニターによって傍聴していただきます。

一般質問が行われる15日(金)と18日(月)の2日間は、休憩室を開設しています。セルフサービスのお茶も用意しています。

「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる12月15日(金)、18日(月)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。希望される方は、12月7日(木)までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



「手話通訳」・「要約筆記」を導入

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。

希望される定例会開催日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



NEW!! QRコードで 議会中継へアクセス!!

詳しくは、15ページをご覧ください。



◎お申し込み先◎

議会事務局

TEL.63-1006 (直通)

FAX.63-4108

E-mail gikai@city.ono.hyogo.jp

自宅に居ながら議会の傍聴

市議会 LIVE 中継実施中

LIVE市議会中継 小野市議会

検索